



Vol.14

Women's Mizutani Network

あいち水土里ネット女性の会 (令和8年1月発行)



進藤金日子参議院議員

基調講演：最近の情勢について

- ① 食料自給力の確保のため農地・水を確保し、担い手への農地の集積・集約化を推進。スマート農業の導入、DXの推進。
- ② 土地改良法の改正により、地域の農業水利施設の整備に加え、新たに『保全』に関する措置について明記。
- ③ 農業農村をめぐる情勢及び課題を踏まえた土地改良長期計画を構築。
- ④ 米価高騰の要因及びその対応について検証し、今後の主食用米の生産見通し及び需要見通しを算出・策定。
- ⑤ 令和8年度土地改良予算要求の概要報告。

基調講演：土地改良概論等について



全国水土里ネット
親泊安次所長

土地改良区に関する基本的な知識として講演資料提供いたします！



★★★ 東海ブロックのみなさまとの実りある交流会 ★★★

令和7年9月25日（木）大垣フォーラムホテルにおいて『東海ブロック水土里ネット女性理事等意見交換会』が開催されました。愛知・三重・岐阜の三県から土地改良区の理事及び職員155名が集いました。全国水土里ネット会長会議顧問 進藤金日子参議院議員並びに全国水土里ネット土地改良研究所 親泊安次所長による基調講演の後、参加者たちは理事と職員と分かれ、テーブルにつき、それぞれの職務に関わるテーマに沿って意見交換を行いました。昼食会では美味しいお弁当とデザートとともに歓談のひとときを楽しみました。またこのたびは、あいち水土里ネット女性の会顧問である進藤優貴子様もご臨席ください一層華やかな集いとなりました。



美味しいランチ

意見交換は真剣な眼差しで！

令和7年度 男女共同参画推進大会 in くまもと

つながる、広がる、農業農村の力。

～私たち、ひとりひとりが輝く水土里ネットの未来を作ろう～

令和7年11月4日(火)5日(水)の日程で全国水土里ネット女性の会及びくまもと水土里ネット女性の会主催による【令和7年度男女共同参画推進大会 in くまもと】が開催されました。あいち水土里ネット女性の会から会員を代表して、会長の安達直子さん、副会長の近藤淳子さん、事務局の今枝愛子さんが参加しました。

全国水土里ネット女性の会の西彩会長は開会あいさつの中で、「私たちはこれまでの活動を通じて、経験と技能を培い、地域の力を引き出す感性を磨いてきました。本大会を通じてさらにネットワークを広げ、互いに学び合い、土地改良の発展のために共に力を尽くしてまいりましょう。」と力強いメッセージを述べられました。また、九州農政局次長小野寺慎司さま始め来賓のみなさまよりご祝辞や励ましの言葉をいただきました。

全国から236名が集い、ホテルメルパルク熊本において大会式典ならびに交流会が盛大に執り行われました。また、プログラムの一環として、大切畠ダム、熊本地震震災ミュージアムを視察し、熊本の農業の歴史と防災の知恵を学びました。さらに愛知のメンバーの要望により通潤橋の追加視察も行いました。参加者一同大変有意義な時間を過ごしました。



基調講演「やる気スイッチは押しつ押されつ～共に考え、共に動いた分、地域は変わっていく～」



徳永順子氏

みやま市農業委員会
山川地区土地改良区理事

＜心に残った徳永氏の言葉＞

- ・役を受けた以上は、肩書だけでなく前向きに精一杯役目を果たす。
 - ・今日より明日、半歩でも前進する。
 - ・打たれた球はすぐには打ち返さず、一旦考えてみる。
 - ・荒れた場所は人の心も荒らされる。(だから荒れた農地をよみがえらせたい。)
 - ・一人で背負わず周りの人に協力してもらう。
 - ・自分が学んだことを次に送る。誰かを支える人になる。
- 常に周りへの感謝を忘れない
素敵な方でした!!

パネルディスカッション「だれもが活躍できる地域農業を目指して～水土里ネットの挑戦～」

コーディネーター：親泊安次氏（全国水土里ネット土地改良研究所所長）

パネラー：松本綾子氏（水土里ネット長崎理事）、大森直樹氏（熊本県農地整備課長）、酒瀬川美鈴氏（水土里ネット熊本理事）、田尻千恵氏（前くまもと水土里ネット女性の会会長）

- 土地改良区における女性理事の登用や職員としての活躍をさらに推進し、男女共同参画の一層の前進を図ること。
- 世代や立場を超えて多様な人材が結集し、地域のつながりを力として持続可能な農業農村の実現に寄与すること。
- 地域資源を活かした豊かで誇りある農業農村を守り、着実に次世代へ継承し、共に学び支え合う地域社会を形成すること。

・女性の組合員を増やす
・地域の意識を尊重

・スマート農業導入
・担い手をサポート

・性別年齢問わず情報を確保
・女性が参入しやすい環境

つうじゅんきょう

通潤橋 1854年(嘉永7年)四方を河川に囲まれた白糸大地に農業用水を送るために建設された石造アーチ水路橋です。当時としては非常に珍しい技術で、耐久性と美観を兼ね備えています。放水は通水管に堆積する土砂を排出する仕組みで、普段は見られない放水が行われる瞬間は貴重です。近づくとそのスケールに圧倒されるのもこの橋の魅力です。



会長 安達直子さん
茶屋新田土地改良区



会長と副会長の本気トーク！

～二人だから見える景色～

●趣味：アレンジフラワー
ソフトバレーボール
バドミントン

●好きな言葉：一期一会

●挑戦したいこと：
水土里ビジョンを策定する！●趣味：ソフトボール
家庭菜園

●好きな言葉：丈夫

●挑戦したいこと：
洋服を作つてみたい！

副会長 近藤淳子さん

豊田土地改良区



◆熊本の男女共同参画推進大会に参加して◆

安達：熊本の大会ではたくさんの出会いをいただきました。多くの仲間の温かさに触れ、これまで私を支えてくれた方々へ恩返しとして、今度は誰かを支えられる人になりたいと思っています。「支える」とは必ずしも大きなことではなく、相手の話を丁寧に聞く、経験を共有する、励ましの言葉をかける——そんな小さなことを積み重ねていくことだと考えています。

近藤：農業の現場はどうしても男性中心に見られがちですが、女性ならではの柔軟な発想や生活に根ざした知恵は、農業分野に新しい価値を与える可能性を秘めているということを徳永氏の講演に触れて気づかされました。また、本大会運営で活躍する熊本の女性の会のメンバーを見て、普段からコミュニケーションを重ねているからこそ協力の力が自然に發揮されるのだと感じました。

◆あいち水土里ネット女性の会の活動を振り返って思うこと◆

安達：これまで活動の大部分を事務局にお任せしてやってきましたが、これからは運営委員自身も会の内容決定に関わっていきたいと考えています。それにより多様な視点や現場の声が反映され、会員のみなさまにとって一層魅力的で実りあるプログラムになると思います。また自分たちで決めることで責任感ややりがいが増してくるのではないかと感じています。

近藤：女性の会に参加してくださる会員が少しずつ増えてきたのはとても嬉しいことです。特に動きのある研修や楽しい研修は、学びだけでなく交流や体験を通じて人を惹きつけるので、多くのみなさんが参加してくださっていると感じています。さらに工夫を重ねることで、研修を単なる「学びの場」から「参加したくなる場」へと進化させていきたいです。

◆今後の抱負◆

安達：昨年女性の会で編纂した「土地改良区用語集」をバージョンアップして全国に広めていきたいです。そして土地改良の現場で働く人たちの知識共有や業務効率化に役立ててもらえた嬉しいです。

近藤：女性の会に一度も参加できていない方への働きかけをしたいと思っています。参加できない背景にはいくつかの理由が考えられます、個別に直接声をかけてみるとか、あるいは時間帯・場所・内容が合わない可能性も考えられるので、アンケートや聞き取りなどから会員のみなさまのニーズを把握することも大切だと思います。

◆会員のみなさまへのメッセージ◆

安達：ぜひ女性の会にお越しください。皆さまとお会いできるのを楽しみにしています！

近藤：新しい出会いはとても素敵なことです。つながりが広がるのは本当に嬉しいです。運営委員として一緒にいただける方も心よりお待ちしています！

お知らせ:令和8年1月29日(木)女性の会研修会を開催します！ぜひご参加ください！

「あいち水土里ネット女性の会」事務局
水土里ネット愛知 総務部総務課